

様式第二号の八（第八条の四の五関係）*前年度、産業廃棄物発生量 1,000 t 以上の使用様式
(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

山梨県知事

長崎 幸太郎 殿

提出者

住 所 山梨県中央市一町畑810

氏 名 タマ生化学株式会社 甲府工場

工場長 有泉 洋

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 055-273-3135

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

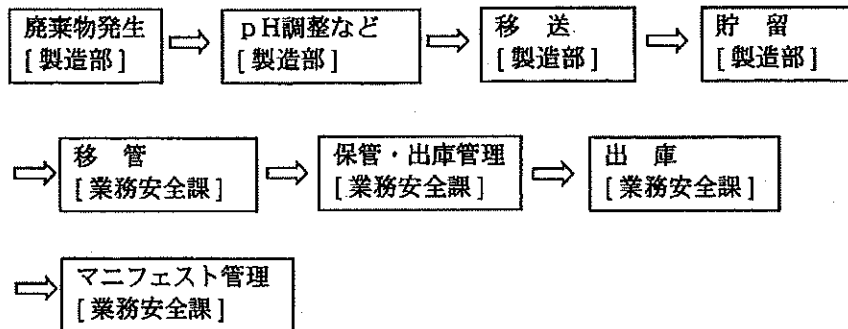
事業場の名称	タマ生化学株式会社 甲府工場
事業場の所在地	山梨県中央市一町畑810
計画期間	令和 7年 4月1日 ~ 令和 8年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E16 化学工業（医薬品、食品添加物 製造業）
② 事業の規模	製品出荷額 80 億円 （甲府工場製品）
③ 従業員数	170名（甲府工場勤務 125名）
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙フローシート参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	排 出 量	別紙 1	
	（これまでに実施した取組） 廃液類が主で、生産量に応じて廃液量変動する。廃液の発生量を少なくするために工程改良を重ねており、従来製品では生産量に対する発生量は減少傾向となっているが、新たな事業を立ち上げておりここからの廃液発生は増加分となっている状況は昨年と変わらない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	排 出 量	別紙 1	t
	（今後実施する予定の取組） 製品の生産量は前年並みの計画であるが、予定外の受注による変動の可能性はある。生産量に対する廃液発生量は全般的に減少の見込み。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 処分の容易さや廃棄方法に応じて分別しており、廃酸が3種類と廃アルカリ、固形分の多い汚泥、廃酸化マグネシウムなどに分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状の分別方法を継続して実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	該当なし		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	全 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	(これまでに実施した取組)		
	特殊な工業廃水で、処理委託先が限られるが優良認定処理業者や認定熱回収業者に優先的に処理をお願いしている。廃棄物の再濃縮を行う工程を追加し、廃水の低減に努めている。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 1	
	全 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙 1	t
	(今後実施する予定の取組)		
	新たな処分先の開拓も行っており、さらに優良認定業者や認定熱回収業者との取引を検討する。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

請
じ
ま
と。

- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

中
間

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

量
行
収
あ
へ

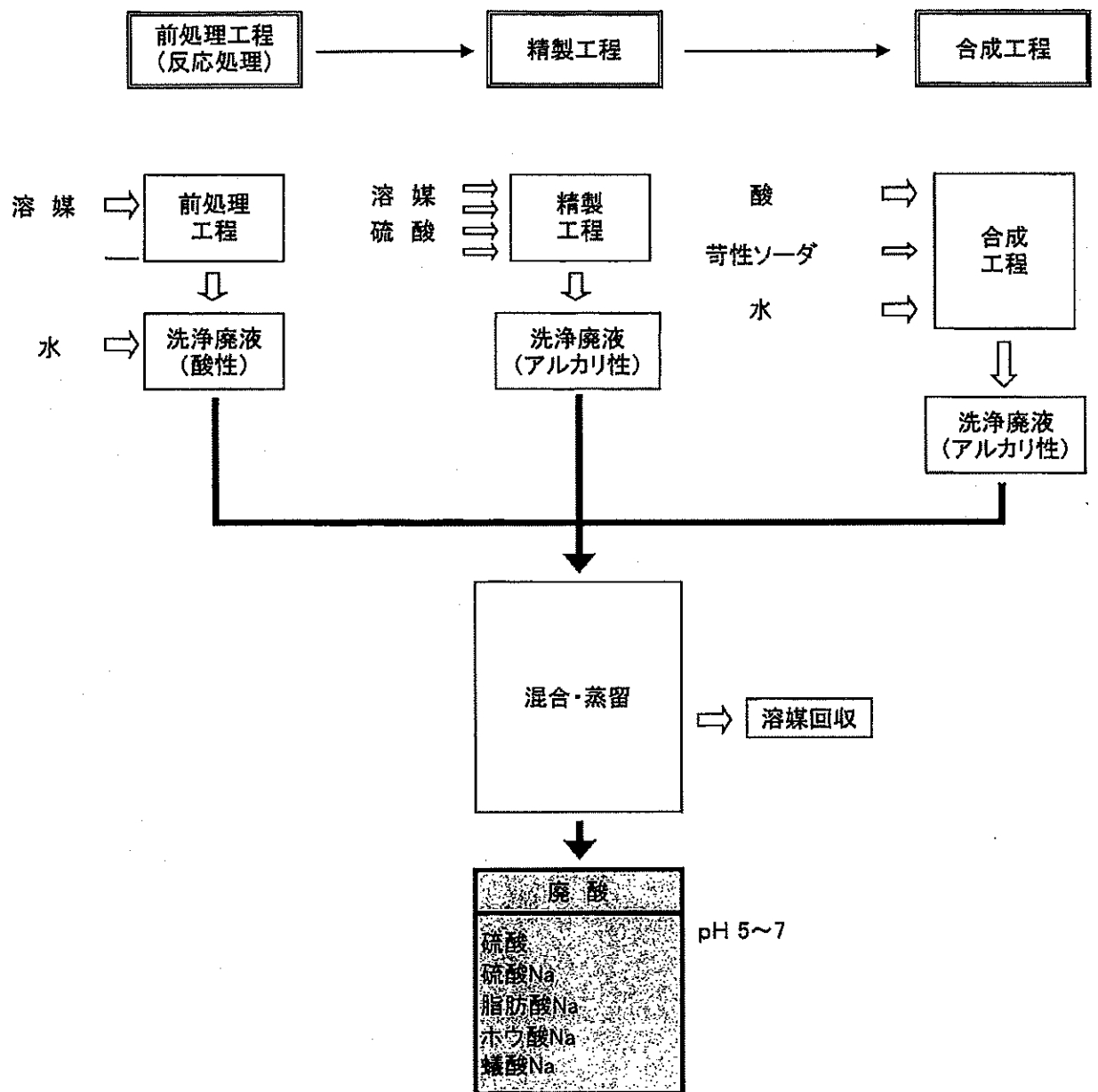
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

と
の
入

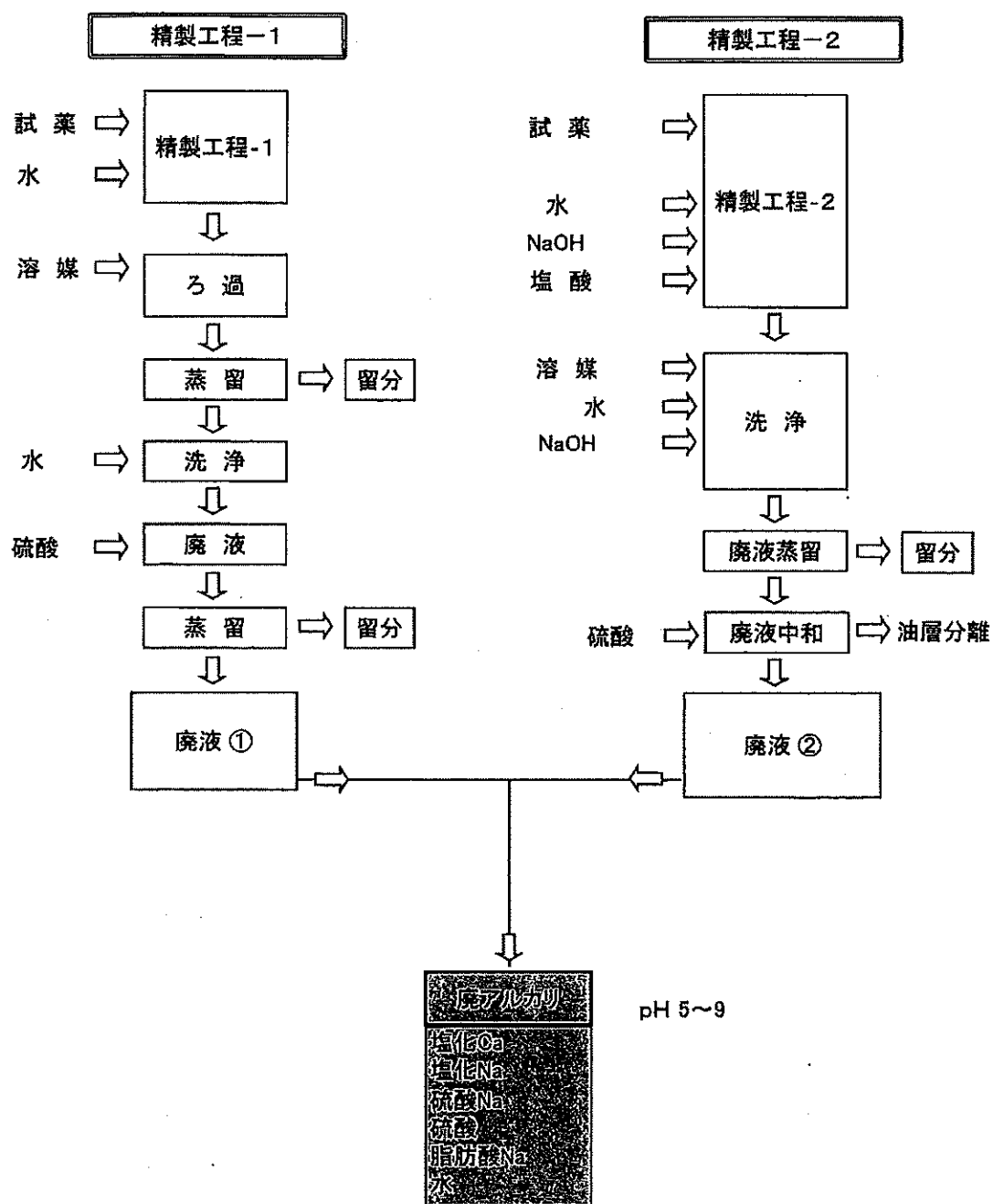
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。

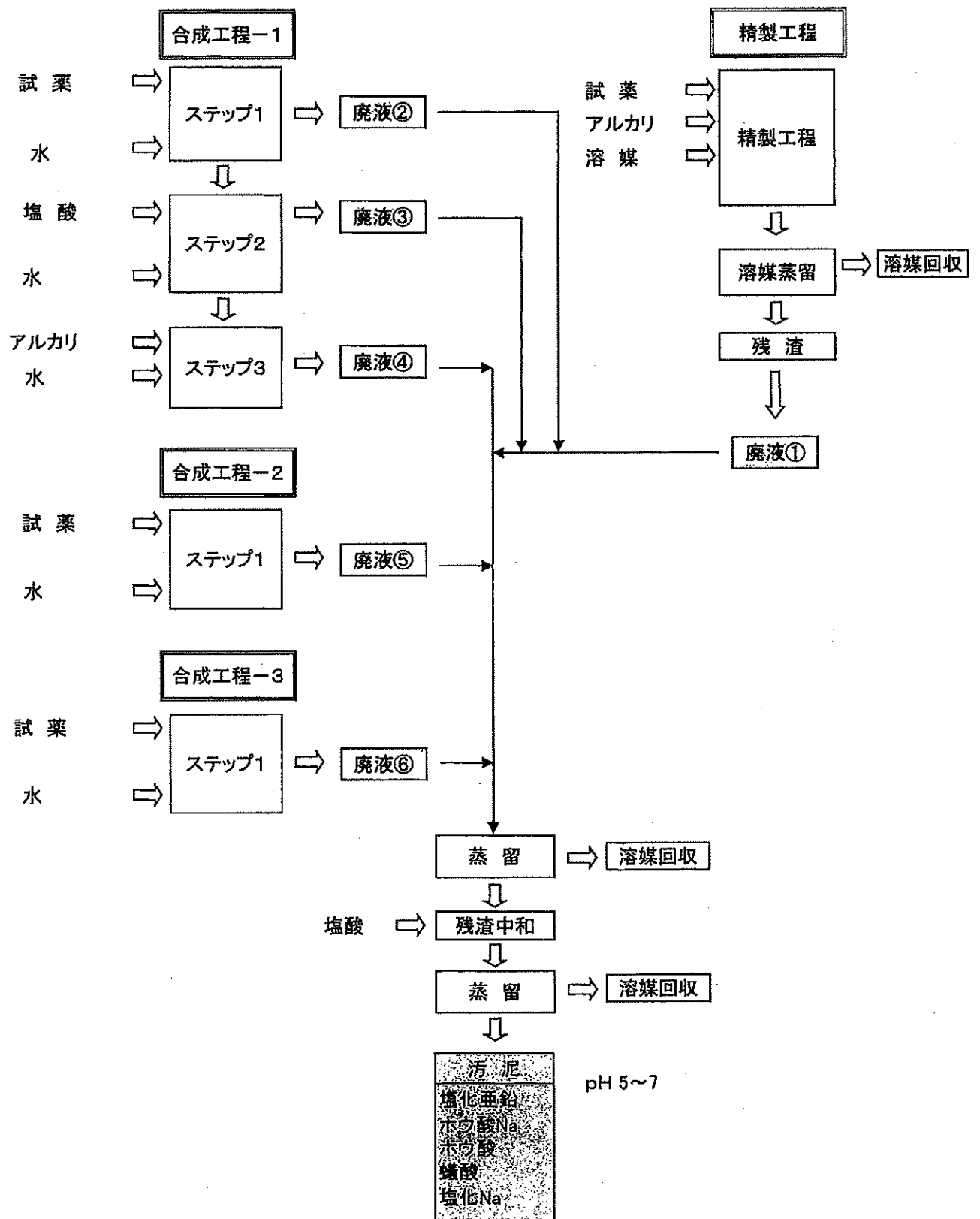
医薬品 製造工程 (廃酸発生工程)



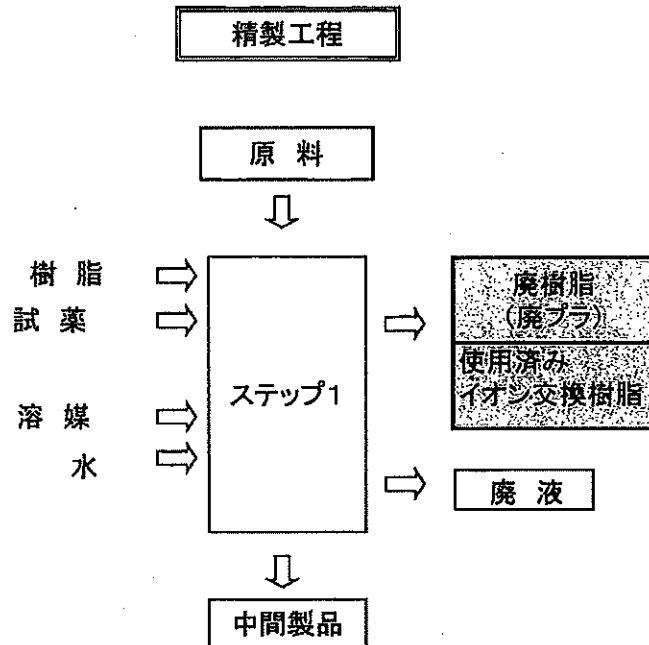
医薬品 精製工程（廃アルカリ発生工程）



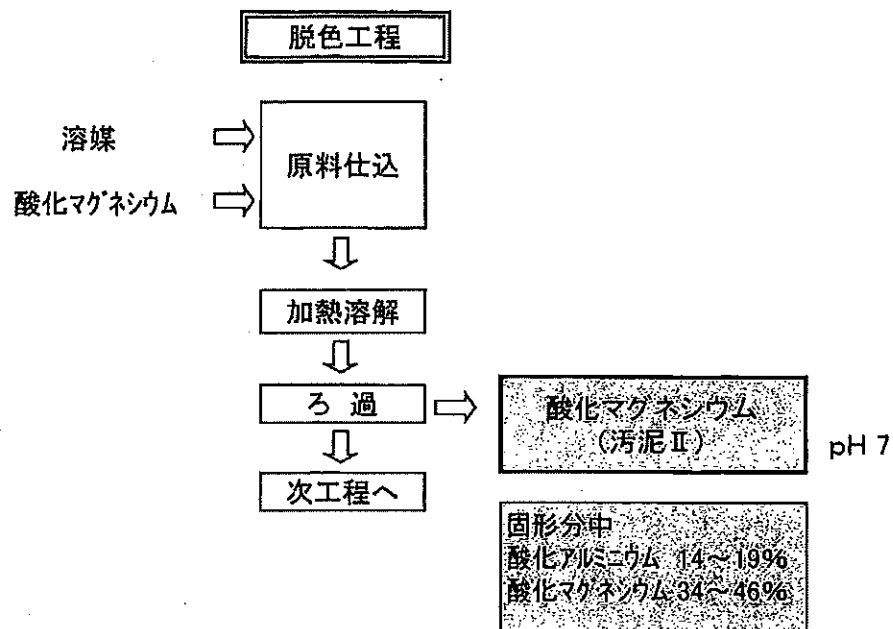
医薬品 製造工程（汚泥発生工程）



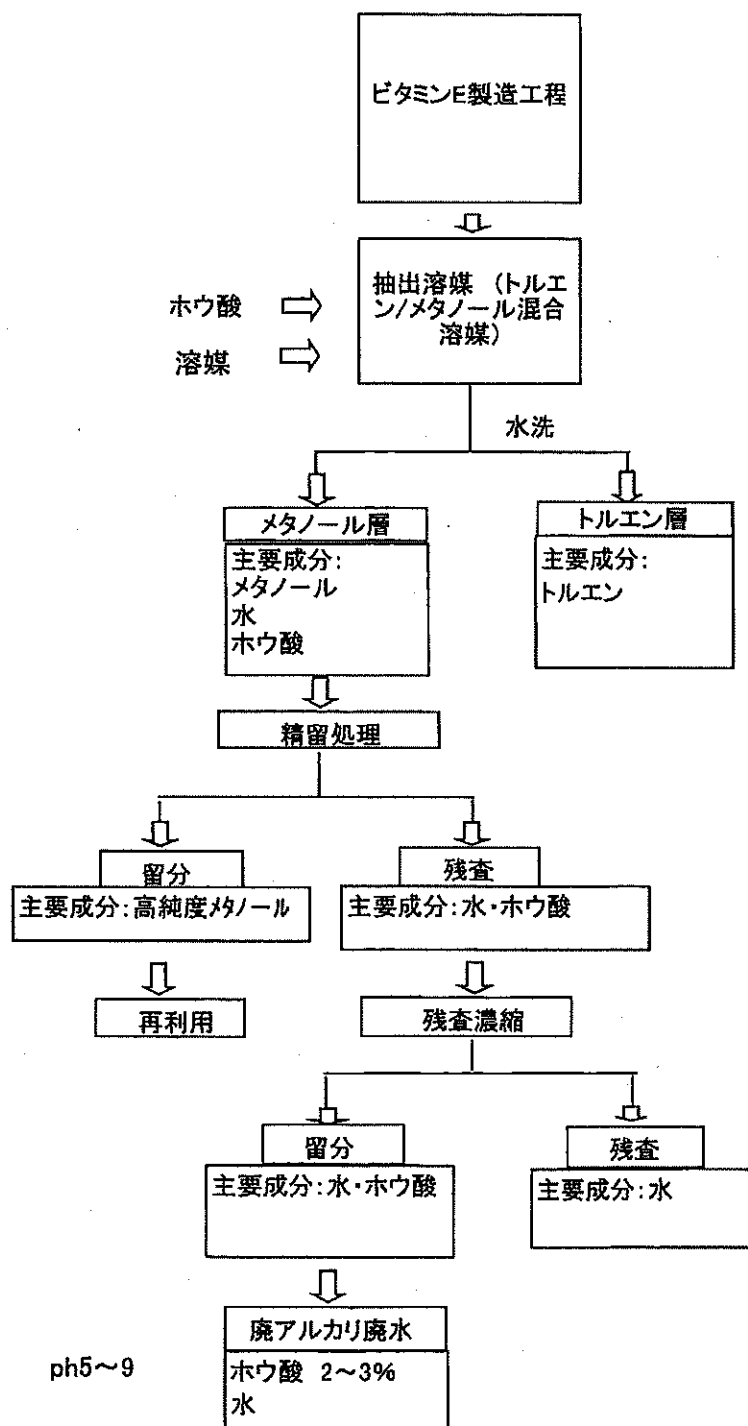
医薬品 製造工程（廃樹脂発生工程）



食品添加物 製造工程 (酸化マグネシウム(汚泥Ⅱ)発生工程)



食品添加物 製造工程（廃アルカリⅡ（再濃縮廃水）発生工程）



産業廃棄物の種類	区分	排出量 (t)	自ら再生利用を行う量 (t)	自ら熱回収を行う量 (t)	自ら中間処理により減量する量 (t)	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量 (t)	全処理委託量 (t)	優良認定処理業者への処理委託量 (t)	再生利用業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者への処理委託量 (t)	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (t)
廃酸	前年度計画目標値	1,098.00	—	—	—	—	1,098.00	—	—	—	—
	前年度実績	1,144.09	—	—	—	—	1,144.09	1,144.09	—	—	—
	本年度目標値	1,098.00	—	—	—	—	1,098.00	—	—	—	—
廃アルカリ (再濃縮廃水含む)	前年度計画目標値	1,041.00	—	—	—	—	1,041.00	—	—	—	—
	前年度実績	809.46	—	—	—	—	809.46	765.35	—	44.11	—
	本年度目標値	1,041.00	—	—	—	—	1,041.00	—	—	—	—
汚泥	前年度計画目標値	1,740.00	—	—	—	—	1,740.00	—	—	—	—
	前年度実績	1,629.24	—	—	—	—	1,629.24	1,629.24	—	—	—
	本年度目標値	1,740.00	—	—	—	—	1,740.00	—	—	—	—
イオン交換樹脂 (廃プラ)	前年度計画目標値	25.92	—	—	—	—	25.92	—	—	—	—
	前年度実績	27.88	—	—	—	—	27.88	9.60	—	—	—
	本年度目標値	25.92	—	—	—	—	25.92	—	—	—	—
酸化マグネシウム (汚泥)	前年度計画目標値	6.93	—	—	—	—	6.93	—	—	—	—
	前年度実績	15.44	—	—	—	—	15.44	15.44	—	—	—
	本年度目標値	6.93	—	—	—	—	6.93	—	—	—	—